

交通安全対策については、交通安全推進協議会の円滑な活動を推進するとともに、うるま地区および石川地区の交通安全協会と協働して、交通安全思想の高揚ならびに交通道德の啓発を推進して飲酒運転根絶と交通事故防止に努める必要があります。



幼児交通安全教室

行政改革については、「うるま市行政改革大綱」に基づき、引き続き、「ジリツした市民と協働でつくりあげる行政」の実現を基本に、市民の視点に立った行政サービスの推進に取り組む必要があります。

また、この大綱は、平成21年度が終期であることから、実施計画の進捗状況等を点検・検証し、必要な見直しを行い、「第

2次うるま市行政改革大綱」の策定に取り組む必要があると考えております。

人事行政については、「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上と能力開発を目的に各種研修を実施するとともに職員の健康管理に留意し、より良い職場環境づくりに努める必要があります。

また、服務規律の確保や適材適所の職員配置等の適正な人事管理に引き続き取り組む必要があります。

市民課業務については、本庁窓口の各種証明書交付申請の受理および交付、郵送交付事務への対応、フロアサービスの業務を一部民間に委託することにより、経費の節減と市民サービスの向上に努める必要があると考えております。

市税については、最も重要な自主財源であり、今後とも適正かつ公平な課税に努め、徴収については、新規滞納者の発生を防ぐため、現年度徴収・滞納処分を一層強化し、累積滞納額の縮減を着実に進め、徴収率の向上に取り組む必要があります。

私は、具志川市長として2期7年、うるま市長として1期4年の間、市政を担当させていた

だきました。常に市民の皆様が「誇りと愛着を持てるまち」の建設に向け取り組んでまいりました。

本市には、世界遺産である勝連城跡をはじめ、各地域に特色ある歴史や文化が数多く存在し、美しい風景と豊かな自然環境にも恵まれています。

今後、これらのすばらしい資産を生かし、うるま市の将来像である「人と歴史が奏でる自然豊かなやすらぎと健康のまち」の実現に向けたまちづくりが推進されるよう願っております。

最後になりましたが、本市は沖縄科学技術大学院大学のキャンパスタウンエリアに位置づけられていることもあり、「(仮称)インターナショナルスクール」の誘致を進めてまいりました。しかしながら、「地域への説明が十分ではなかった」との厳しい指摘等もあり、その後、地域別に説明会を開催し、市民の理解を得るべく努めてきたところであります。

このスクールは、県のアジアゲートウェイ構想ともリンクし、国際的な教育施設として、本市にとって人材育成はもとより、地域に果たす役割も多大なものがあると確信しております。

従来の経験だけでは予測しがたい急速な変化の中で、本市が継続的に成長していくには、人材育成は不可欠であり、その意味においても市民の皆様ならびに議員各位のご理解をお願いしたいと考えております。

以上、平成21年度の主な施策の概要について申し述べました。私の任期も残りわずかではありますが、最後までご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。施政の方針とさせていただきます。ありがとうございます。

平成21年3月2日

うるま市長 知念 恒男

